| 科目ナンバリング | U-LAS04 10001 LJ47 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 教育学Ⅰ<br>Pedagogy I | | 担当者所属職名・氏名 | 非常勤講師 久保田　健一郎 | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 教育・心理・社会(基礎) | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2026・前期 | 曜時限 | 木3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

本授業は、学校教育を軸として、近代以降の日本の教育の概観、学校教育を支える思想やその歴史、現代の教育の諸問題を学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することが可能になる。

**[到達目標]**

・日本の学校教育についての歴史と現状を理解する。
・学校教育を支える思想、歴史を理解する。
・学校教育に関する現代的諸問題とその背景について理解する。

**[授業計画と内容]**

基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。

１．教育とは何か
２．日本教育小史①　－前近代から近代へ－
３．日本教育小史②　－ポストモダンにおける教育－
４．教育必要性について①　野生児の事例の紹介
５．教育必要性について②　野生児の事例の考察
６．近代教育の思想
７．子ども観の歴史とこれから
８．子どもたちの力学①　－スクールカーストの事例から－
９．子どもたちの力学②　－スクールカーストの考察－
１０．ゆとり教育の理念と実際
１１．学力とは何か
１２．乳幼児の教育
１３．現代の教師
１４．新自由主義と教育・諸外国の教育の動向
１５．フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します）

授業回数はフィードバックを含め全15回とする

**[履修要件]**

特になし

教育学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

**教育学Ⅰ(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

**平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出（25点）と授業への参加度（25点）に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。**
**期末レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。**

**[教科書]**

LMSに授業資料を提示します。

**[参考書等]**

**（参考書）**
**授業中に紹介する**

**[授業外学修（予習・復習）等]**

**日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。**

**[その他（オフィスアワー等）]**

**授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。**
**授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、課題提出を織り交ぜた授業になります。**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**